

地域と農業を結ぶ、ふれあいと紹の発信源

Ag'resh

2022. VOLUME.146

5



特集 国消国産のススメ

~持続可能な農業を未来へ~



JAは地域社会の
課題解決とともに、
SDGsの実現へ
貢献していきます。

「よいきプロジェクト」



地域じまんのモノ語り

ご家庭で米粉レシピに挑戦!

輸入小麦が高騰するなか、国内では代替品として米粉が注目されています。和菓子の材料として使われる米粉は、麺類や揚げ物の衣、デザートなど様々な料理に活用でき、活躍の場を広げています。

さらに小麦アレルギーの元となる「グルテン」を含んでいないので、アレルギーのある方でも安心して食事を楽しむことができます。

今回は米粉と旬の「ももいしいちご」と一緒に使ったデザートを紹介します。

是非、ご家庭で米粉レシピに挑戦してみてください!



「ももいしいちご」を使った 米粉アイス

材料(3人分)

「ももいしいちご」……… 8個
ホップクリーム(市販)… 1本(200g)
牛乳…………… 100cc
米粉…………… 20g

作り方

- ① ヘタを取って洗った「ももいしいちご」を5個と3個に分ける。
- ② 5個は潰してピューレにし、3個は食感が残るくらいに刻む。
- ③ 小鍋に牛乳と米粉を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ④ ③を弱火にかけてよく混ぜ、とろみがついたら火からおろし、練りながら混ぜる。
- ⑤ ④を深めのタッパーに移しよく冷ます。
- ⑥ ⑤にホップクリーム、イチゴピューレ、刻んだイチゴを入れて混ぜ合わせ、冷凍庫でしっかりと固めたら完成。



Point
ハチミツをかけると
より「まろやか」な
甘さになりますよ!



※米粉はファーマーズ・マーケット「かだあ～れ」でもご購入いただけます。

公式Facebook
JA十和田おいらせ

■令和4年5月16日発行 ■発行／十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集／JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <https://www.jatowada-o.or.jp> ■Email/soumu@jatowada-o.or.jp ■印刷／アート印刷

継承×人



大深内支店管内

立崎 裕也さん(37)
良恵さん(36)

おいしい野菜を作り 農業をつなげたい

ニンニクの生育を確認しながら、妻:良恵さんと母:まり子さんと一緒に2本枝の抜き取りや薬剤散布に精を出す。「今のところ順調に生育している。梅雨が影響して病害虫が発生しないか不安はあるが、6月の収穫までこのまま順調に生育し、大玉で良品質に仕上がってほしい」と期待する。

震災でわかった食の大切さ

就農のきっかけは2011年3月の東日本大震災。会社員として勤めていた裕也さんは偶然にも実家に帰省していた。地震や津波の影響でスーパーの棚から食料が消えていくなか、農家の実家では、食べることに苦労はなかったが「生きるために食が必要、食には農業が必要」と強く実感。震災から3年後に脱サラし就農した。良恵さんは「不安もあったが、新しい挑戦を応援したかった」と振り返る。

体験して気づく農業の楽しさ

裕也さんはJA青年部大深内支部長を務め、イベントや食農教育で地域に“食”的大切さを伝えている。家では子どもたちに出荷時の箱づくりや収穫を手伝ってもらい、農業に触れてもらう。

プロフィール…たちざき ゆうや

立崎地区

組合員=立崎亨一(父)

家族構成:本人、妻、子3人、両親、祖父

農業経営:ニンニク1.4ha、ゴボウ1ha、

水稻2.6ha、キュウリ20ha

4月27日撮影



contents

あぐれっしゅ

vol.146

5

(毎月・さつき)

特集 4~6p

国消国産のススメ

~持続可能な農業を未来へ~

継承人 3p

NEWS&TOPIC

地域の話題 7~9p

あぐれっしゅ情報① 10p

担い手パワーアップ・アクション始動

あぐれっしゅ情報② 11p

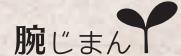
令和3年度の功績

かだあせれ 情報 12p

ふれあい広場

頭の体操 パズル? 13p

information 14~15p



地域じまんのモノ語り 16p

「ももいしいちご」を使った

米粉アイスレシピ

JAの概況 令和4年5月1日現在

正組合員数/6,233人

准組合員数/5,228人

役員数/26人

職員数(准職・嘱託含)/281人

貯金高/833億2,094万円

貸出高/175億 907万円

告知版

総務部

総代会開催に伴う 資料説明会

開催日時		開催地区	開催場所
年月日	時間		
令和4年6月14日(火)	午後1時30分	ももいし・下田支店管内	下田支店
令和4年6月15日(水)	午後1時30分	大深内・藤坂・上北 十和田湖・七戸支店 三本木事業所管内	本店
令和4年6月16日(木)	午後1時30分	横浜町・むつ支店管内	むつ支店

開催日時:令和4年6月24日(金)

第12回通常総代会開催日

受付時間:午前9時／開会:午前10時

開催場所:JA本店3階大会議室

※当日は総代会資料をご持参願います

※新型コロナウイルス感染状況により、開催方法等を変更する場合があります

共済部

認知症の予防と備えについて考えてみませんか?

認知症共済

長寿化の進展等により、認知症は誰にとっても
身近なリスクになっています



2025年には約1,362万人(※1)

65歳以上の約3人に1人(※2)

※1 「厚生労働省 社会保障審議会 介護給付費分科会 第115回(H26.11.19)参考資料」
「厚生労働省 社会保障審議会 介護保険部会 第78回(令和元年6月20日)資料」をもとにJA共済連にて試算
※2 内閣府 令和3年版高齢者社会白書とともにJA共済連にて試算

point.1 認知症はもちろん、認知症の前段階の軽度認知障害(MCI)まで幅広く保障します

point.2 認知症の予防・早期発見から発症後までトータルでサポートする各種サービスがご利用いただけます

point.3 簡単な告知でご加入いただけます

ご契約例:共済金額500万円

不
担
保
期
間

1年間

はじめの1年
間は認知症・
軽度認知障害
の保障が
ありませ
ん。

①認知症共済金 500万円(共済金額×100%)

所定の認知症と診断確定+要介護1以上の認定中*のとき
※公的介護保険制度に定めるもの

②軽度認知障害給付金 50万円(共済金額×10%)

所定の軽度認知障害または所定の認知症と
診断確定されたとき

※①・②の支払額を合計して、共済金額と同額が限度です。

ご加入※この共済には、死亡における保障はありません。※認知症共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。※この共済には、指定代理請求特約を必ず付加していただきます。※共済金等のお支払いは責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限ります。※認知症共済金および軽度認知障害給付金にかかる責任(保険)の開始は、ご契約日からその日を含めて1年を経過した日からとなります。なお、共済掛金の払込免除についてもご契約日から保障します。※軽度認知障害給付金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。
また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

22021900015

6月ローン相談会

(本支店のご案内)

開催の日時・場所

18日(土)

9:00~15:00

本店・大深内・藤坂・ももいし
下田・上北・十和田湖・七戸
横浜町・むつの各支店

農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。

3 食料の安定供給が危機!?

農地面積が、60年間で約170万ヘクタール減少

農家の高齢化や担い手不足で管理されなくなった農地は荒れてしまします。一度荒れた農地からまた農産物を収穫するためには、土づくりや水の管理、病害虫対策などに時間がかかります。

中山間地域などでは田んぼや畑が、川の洪水や土砂崩れを防ぎ、市街地では気温上昇を抑え、災害時の防災空間になるなど、多くの機能を発揮しています。農地面積が減ると多くの生き物のすみかが失われ、美しい景観も損ないかねません。

4 自然災害の多発

年々、自然災害の回数・被害額ともに増加傾向にあり、収穫量の減少や農地・農業関連施設への被害が発生しています。さらに、自然災害による交通への影響が出ると、孤立地が発生し、食材が行き渡らないこともあります。



2. 国消国産に期待できること

国消国産は国連がすすめるSDGs(持続可能な開発目標)にもつながります。

例えば、同じ価格の農産物を米国産は1万キロ以上を大型船舶で、国産は数百キロをトラックで運びます。国消国産をすすめることは、食料を輸入に依存しないことにつながり、このような輸送エネルギーや環境負担を減らすことになります。

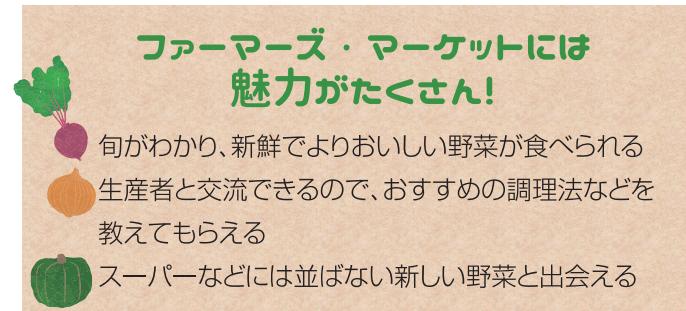
これは、SDGsの「2.飢餓をゼロに」「12.つくる責任つかう責任」「13.気候変動に具体的な対策を」に通じるものです。



3. 消費者には何ができる?

地元の農畜産物を応援することから始めてみましょう!

1人ひとりが地元で取れた野菜を食べることで、自然と「国消国産」が定着します。まずは、地元食材を取り扱うファーマーズ・マーケットに足を運んでみることをおすすめします。



ファーマーズ・マーケット「かだ~れ」には、消費者により良い食を提案する「食育ソムリエ」がいます。
(2022年4月現在21人:従業員含む)
このマークが目印です。
見かけたらぜひ声をかけてください

そのため当JAでは…
産地拡大事業による種苗費の助成やナガイモ、ニンニクなど品目ごとに育成塾を開講し、若手農業者の確保と農業への定着率向上で耕地面積の維持・拡大に努めています。

そのため当JAでは…
土壤診断による適正な施肥管理や作物の品種選定で自然災害に強い栽培に努めています。さらに、ファーマーズ・マーケットの運営で災害時に運送が滞った場合でも、地元の食材を販売し、食料の調達が可能になります。



(資料:広報通信)

近年、農業生産基盤の弱体化や世界規模での自然災害の発生、世界の人口増加による需給のひっ迫など、私たちの食を取り巻くリスクが高まっています。

今回の特集では、JAグループが持続可能な農業を未来へつなぐためにすすめている「国消国産」を紹介します。「国消国産」とは何か、なぜ必要とされているのか、私たちに出来ることはありますかと一緒に考えてみましょう。

1. 現在の日本の“食”問題とは

1 食料自給率(2019年度)先進国で最低 カロリーベースで38%

日本は食べ物の多くを外国に頼っています。コロナ禍で自国の需要を優先させ、食料輸出を制限した国もありました。それらの国から日本は輸入をしていませんでしたが、何らかの問題があった場合、食料の調達は難しくなります。さらに、世界の人口は2020年の統計で約78億人(出典:国連人口基金「世界人口白書2020」)。人口はさらに増え続け、2050年には97億人まで増加する見通しです。日本国内で生産を増やすことに、食料を海外に依存し続けると、飢餓が深刻な国・地域の食料を奪うおそれもあります。
※政府は2030年までに食料自給率を45%まで上げる目標を設定しています。

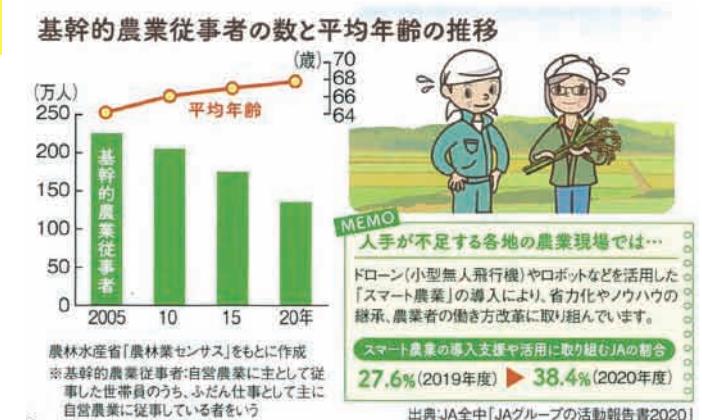
都道府県別食料自給率の推移
(カロリーベース)
単位:%

都道府県	29年度	30年度	元年度 (概算値)
1 北海道	206	196	216
2 秋田	188	190	205
3 山形	137	135	145
4 青森	117	120	123
5 新潟	103	107	109
6 岩手	101	106	107
7 鹿児島	82	79	78
8 福島	75	78	78
9 富山	76	78	76
10 宮城	70	74	72
全国平均	38	37	38

(農林水産省ホームページより)

2 農業者数が減り、高齢化が進んでいる

新規就農者は1年に約5万人。農業従事者は1年に5.6万人のペースで減少しています。農業従事者も「平成」の30年間で平均年齢は約10歳高齢化し、2025年には農業従事者の約7割が65歳以上になると試算されています。私たちの食べるものを、私たちの国でつくれなくなるおそれがあります。



そのため当JAでは…
ニンニクやネギの作業機やドローン防除機の購入助成などを行ない、労働力対策に力を入れています(やさい产地拡大対策事業)。共同選果施設の整備や収穫作業の受託等にも取り組んでいます。



JA事業におけるSDGsの取り組みです。
SDGs(エスディージーズ)とは、人類が直面している「貧困」や「飢餓」、「環境」などの課題を認識し、「持続可能な世界」実現のために2015年9月の国連サミットにおいて採択された、開発途上国だけでなく、先進国も含めた全世界共通の取り組み目標です。17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。



ナガイモ春掘り作業盛んに

～細く長めも食味良好～



▲ナガイモの春掘りを盛んに行う小田さんのは場



「ももいしいちご」収穫最盛期 ～甘味、食味十分～

ももい支店管内で4月下旬から、生食用イチゴ「ももいしいちご」の収穫が最盛期を迎えていました。受粉時期の1月に低温が続いたことで奇形が散見されますが、甘味も十分で食味は良好です。

収穫は6月中旬まで続き、JA直売所の「かだあ～れ」や「おはよう広場」の他、県内食品スーパーなどに出荷されています。

イチゴ栽培歴47年の小向彰一さんは「ヘタに広がりがあるものがおいしいイチゴの目印。病害虫に注意しながら、適期収穫でおいしいイチゴを最後まで届けたい」と笑顔を見せていました。



▲「ももいしいちご」を収穫する小向さん

持続可能な農業を未来へ

4.地元野菜を支える方を紹介

地元野菜で地域活性化!



「かだあ～れ」
出荷会員
小山田剛士さん
出荷品目
リーフレタス
サンチュなど

自分の育てた野菜がどのように評価されるのか、消費者の声が聞きたくて会員になりました。おいしく食べてもらうために日々研究し、栽培技術の向上に力を入れています。イラストやキャラクターを取り入れたPOPも工夫しているので、注目してほしいです。多くの人が地元の野菜を食べて、地域活性につながればいいなと思います。見かけたらぜひ声をかけてください。

おススメの食べ方などを教えます!

地元の“食の魅力”教えます!



「かだあ～れ」
食育ソムリエ
左)深堀久子さん
右)山端綾子さん

私たち食育ソムリエは生産者と消費者のかけはしとして、食の安全安心と、野菜の魅力をアピールしています。おいしい野菜や果物の見分け方、バランスの良い食べ方、スーパーでは見かけない珍しい野菜のことなど、「食」に興味を持つもらえるきっかけづくりができれば良いなと思っています。店内では私たちが手作りしたPOPも多く掲示しています。同じ野菜・果物でも品種によって食味などは大きく変わるのでぜひ参考にして買い物を楽しんでほしいです。

5.まとめ

コロナ禍で高まる食料へ不安



消費者意識の変化

「地産地消」

- 地域で生産
- 地域で消費
- 「食」や「農」の理解
- 食料自給率の向上「国消国産」は農業と消費者をつなぐ契機



SDGs 持続可能な開発目標

- 飢餓をゼロに（農業所得の増大・農業生産の拡大、食農バリューチェーンの構築）
- 働きがいも経済成長も（農業従事者への各種支援）
- つくる責任つかう責任（フードロス削減、エシカル消費の推進、農業生産における環境負荷の軽減など）



「国消国産」

- 食料安全保障
- 食料自給率の向上
- 生産基盤の維持・拡大
- 次世代の担い手確保
- 多面的機能の維持・増進
- 環境負荷に配慮した農業
- ごはんを中心とした日本型食生活

SDGsとJAグループ

持続可能な地域農業・地域社会づくりに向けて

「国消国産」はSDGsの達成にもつながる！

JAグループSDGs取組方針 2020年5月策定

JA全中の調査によると、コロナ禍を契機として食に対する関心が高まり、国産食品へ切り替えるなどの行動変容につながっている方が増えていることがわかっています。

持続可能な農業を未来へつなぐため、国産農畜産物を食べて、日本の農家を応援しましょう。